

# **J-SAILING**

**JAPAN SAILING FEDERATION**



日の丸  
セーラーズ  
SAILING National Team JAPAN

**2 0 1 5**  
**Y E A R B O O K**

**NO.111**

**[www.jsaf.or.jp/hp](http://www.jsaf.or.jp/hp)**



45 α

[www.45rpm.jp](http://www.45rpm.jp)

# JSAFからのメッセージ

今年から皆様にお送りする冊子版 J-SAILING は、年一回の発行となりました。現在、ホームページではタイムリーなセーリング情報を刻々とお伝えしています。冊子版 J-SAILING は、会員の皆様と JSAF をつなぐ役割を担いイヤーブックとして年一回お届けいたしますのでよろしく願います。

今年8月にリオデジャネイロ・オリンピックが開催されます。ぜひ多くのメダルを獲得したいと思えます。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、セーリング界の一層の発展を図っていききたいと思っています。

そのため、加山雄三さんにセーリングの応援団長になっていただき、ボランティアで様々な機会にセーリングと JSAF を応援していただいています。

そして、表紙にあるように「日の丸セーラーズ」という愛称とロゴを決めました。この「日の丸セーラーズ」をシンボルとして、2020年東京オリンピックに向けて、万全の開催準備、様々な国際レースの招致と開催国でのメダルの多数獲得に向けての選手強化に邁進してまいります。そのためのサポート企業・団体の開拓に努めてまいります。

来年のアメリカズカップにソフトバンク・チーム・ジャパンが、また今年11月スタートの単独無寄港世界一周レース、ヴァンデ・グロープに白石康次郎氏が挑戦を表明しました。JSAF はこれらの挑戦にも協力してまいります。

JSAF の会員の皆さん、JSAF を応援いただいている皆さんと力を合わせてセーリングを盛り上げていききたいと思えますので、どうぞよろしく願います。

公益財団法人日本セーリング連盟会長 河野博文



## JSAFのメンバーになれば

- ◎公式競技参加の資格が与えられます。
- ◎会費の一部が傷害保険の保険料に充当され、セーリングの事故による死亡、後遺障害に適用されます。
- ◎JSAFの会報誌「J-SAILING」が送付されます。
- ◎各種講習会などに参加でき、資格を取得する際の条件に適用されます。
- ◎所属する加盟団体からセーリングに関する各種行事やレース日程などの情報が提供されます。

JSAFの活動の詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.jsaf.or.jp/hp/>

### ■ジュニア・ユースにも届きます。

J-SAILING はジュニア・ユースメンバーが所属するおよそ200の団体にお届けしています。各団体のご担当者の方には、ジュニア・ユースセーラーのために J-SAILING を活用されることをお勧めいたします。

### ■PDFでも読めます。

JSAF ホームページの <http://www.jsaf.or.jp/hp/j-sailing> にアクセスしてください。J-SAILING の pdf バージョンが掲載されています。過去の記事を再読したり、本誌が手元にない時にも PC があれば読むことができます。ご利用ください。

### ■会員登録はオンラインでできます。

日本セーリング連盟の会員となるために特別の資格や条件はありません。スポーツとしてのセーリングを愛好し、活動されている方であれば誰でも登録することができます。登録はオンラインから可能です。 <http://www.jsaf.or.jp/hp/membership/account> をご覧ください。

# 翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。

彼らの頑張りが、汗が、涙がスポーツの魅力となって輝く。

勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。

彼らのさらなる飛躍を願い、

JALはスポーツの夢を応援します。



# 2016 リオデジャネイロ・オリンピック セーリング競技日本代表 内定選手

2016年3月1日現在、リオデジャネイロ・オリンピック セーリング競技の日本代表選手は下記のように5種目7人が内定しています。この後、セーリング連盟理事会の決定を経て日本オリンピック委員会（JOC）に内定選手を推薦し、JOCの承認を経て正式決定となります。



470 級女子

**吉田 愛**  
スキッパー

1980年11月5日生まれ  
株式会社ベネッセホールディングス所属  
身長 161cm、体重 58kg



**吉岡 美帆**  
クルー

1990年8月27日生まれ  
株式会社ベネッセホールディングス所属  
身長 177cm、体重 70kg



470 級男子

**土居 一斗**  
スキッパー

1992年3月11日生まれ  
アビームコンサルティング株式会社所属  
身長 175cm、体重 63kg

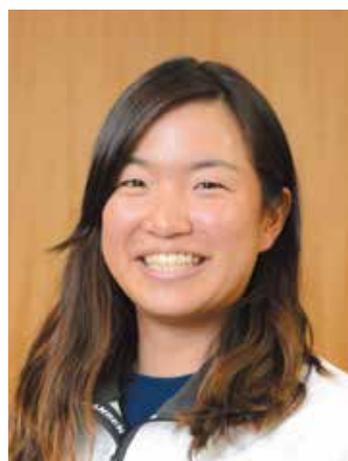


**今村 公彦**  
クルー

1984年2月3日生まれ  
九州旅客鉄道株式会社所属  
身長 180cm、体重 74kg



**日の丸  
セーラーズ**  
SAILING National Team JAPAN



レーザーラジアル級 (女子)

**土居 愛実**

1993年8月29日生まれ  
慶応義塾大学所属  
身長 166cm、体重 63kg



RS:X 級 (女子)

**伊勢田 愛**

1987年6月30日生まれ  
福井県体育協会所属  
身長 157cm、体重 56kg



RS:X 級 (男子)

**富澤 慎**

1984年7月19日生まれ  
トヨタ自動車東日本株式会社所属  
身長 181cm、体重 73kg

\*なお、49er (男子)、49erFX (女子)、レーザー (男子) は3月5日～12日にアブダビで開催されるアジアセーリングチャンピオンシップで五輪出場アジア枠の獲得を目指します。

# ISAF セーリングワールドカップ第5戦

2015年9月14日～20日、中国・青島 [http://jsaf-osc.jp/cn03/pg03\\_136.html](http://jsaf-osc.jp/cn03/pg03_136.html)



ワールドカップ初優勝を果たした吉田・吉岡組 (写真/平井淳一)



2位に入った山口・畑山組 (写真/平井淳一)

## セ

ーリングワールドカップ第5戦で、470級女子の吉田愛・吉岡美帆組(株式会社ベネッセホールディングス所属)が優勝。2位には日本の山口祥世・畑山絵里組(フエビア所属)が入り、1位、2位となった。日本チームがワールドカップで優勝したのは初めての快挙。しかも、2位にも日本チームが入っており、青島大会は大きな成果を得たレースとなった。

中村健次・強化コーチは、「課題にしていることにしっかり取り組み、落ち着いて回りをよく見るレースができるようになった。今回の優勝は(これまで)やってきたことに自信を持てる1勝になる。まだまだ、リオ五輪までに克服しなければならぬ課題があるので、これからもしっかりと強化に取り組みねばならない」と分析した。

なお、本レースで優勝した吉田・吉岡組は10月末のファイナルへの出場権を獲得

得し、総合3位に入っている。山口・畑山組はファイナルで4位になっている。セーリングワールドカップとは

WORLD SAILING (ISAFが改称) が主催し、世界各地で開催する5大会で構成する。各大会の勝者、大陸別1位、世界選手権の勝者が10月末に開催されるファイナルへ進出する。

■今季のワールドカップ構成レース

14年12月

メルボルン(豪)

15年1月

マイアミ(米)

15年4月

イエール(仏)

15年6月

ウエイマス&ポートランド(英)

15年9月

チンタオ(中)

15年10月

アブダビ(UAE・ファイナル)

### ワールドカップの仕組み

WORLD SAILINGは、ワールドカップを従来の全員参加型の大会から、エリート選手のみが参加できる大会へと移行させようとしている。15、16年はその移行期間となり、17年から新システムで運営される。

各種目のエントリー数は40艇に制限される。各種目ランキング30位までの選手、チームが参加できる。前の大会終了直後に最新ランキングが決定する。残りの10枠は指定の予選大会から上位選手が選抜される。従って、トップエリート選手は勝ち続けることが重要となる。枠外選手は予選大会への参加、ランキングポイントがつくその他の大会でポイントを得ればワールドカップへの参加権利を獲得できない。(レポート/JSAFオリオンビック強化委員会・斉藤愛子)

# リオ五輪テストイベント インターナショナルセーリングレガッタ 2015

2015年8月13日～16日、リオデジャネイロ・ブラジル [http://jsaf-osc.jp/cn03/pg03\\_132.html](http://jsaf-osc.jp/cn03/pg03_132.html)



トラッキング用のGPS発信機は出船申告のときにピックアップする(写真/JSAF)



市場には果物も豊富で選手用の食材の調達は心配ない(写真/JSAF)



レース海面に2カ所、ウェザーブイが設置された(写真/JSAF)



リオの観光名所でもあるコルコバードの丘を見ながらレースは展開される(写真/平井淳一)

**リ** オデジャネイロ・オリンピックを控えて、2015年8月13日～16日、セーリングのテストイベントが行われた。52カ国336選手と五輪本番よりはやや少なめの規模だった。各クラスの詳細レポートは強化委員会のウェブサイトに譲り、ここでは準備状況をお伝えしたい。(原稿は2015年8月時点の情報を元に作成しています)

**本番へ向けての施設の準備状況**  
本番を想定してのブレ大会の予定だったが、改修中の Marina da Glória は16年2月が完成予定で、建物の土台以外には何もない状態だった。そこで、今回はすべて仮設のテントとコンテナハウスで行う大会となった。  
全種目1カ国1艇の参加で、日本は五輪10種目のうち7種目に参加した。  
リオデジャネイロの Guanabara 湾は水質が悪く、場所によっては水がまっ黒。潮が満ちてくる時には湾の入り口から青い水が押し出されてくるが、潮の流れを読むには好都合で、選手がストラテジーを考えるのに役立っていた。  
レース会場は、大会開始の2週間前から整備が始まったが、3日前まではとて

**勢いのあるチームを目指して**  
今回のテストイベントを終えて、選手、コーチの意識の中に、リオでの戦い方が構築され始めた。これから現地練習が増える中で、まとまった勢いのあるセーリングチームを目指していく。  
レースがうまく選手が勝つであろうと予測されるリオだが、表彰台を目指す470男女に加えて、メダルレースに残るサブライズを起こしてくれる他クラスに期待したい。(レポート/JSAF オリンピック強化委員会・斉藤愛子)

も大会ができるとは思えない状態だった。それでも、当日になると何とか形はなっていた。  
会場スペースに余裕があるのはありがたかったが、敷地の中は歩いて掲示板を見に行くのに470のボートパークからは10分かかり、レーザーやラジアルは坂道の上からスロープまで艇を運ぶのに5分、サポートコンテナはあるものの、陸の孤島のように離れていた。巨大な計測テントは最初の3日を終えた後は利用されないままに置かれていた。本番の会場レイアウトは今大会とは異なるというところだが、これらのことを考えると、本番へ向けての準備はかなり難しいと思われる。

本番の選手村は会場から50km離れており(直線だと34km)、片道1時間はかかるという。セーリング競技はマリナーに近いホテルを用意するという話だが、一方でホテルが建設されなくなったという話もあり、セーリングはアスリートビレッジから通うという可能性もある。本番になるとホテル代が倍以上になるところもあり、各国とも悩んでいる。今回の日本チームのホテルはハーバーから徒歩10分という好位置だったが、本番になって毎日選手村から通うのでは、疲労がとれなくなるおそれもある。

2015年7月19日～25日、佐賀県・唐津

## オープン優勝は高山・中野組 女子3位は田中・高野組



優勝した高山大智・中野翔太組 (写真/平井淳一)



レースを熱心に観戦される高円宮妃久子殿下 (写真/平井淳一)

大会全体の成績、動画、写真  
<http://2015-420-castlebay.karatsu-worlds.com/category/posted/gallery>

<http://2015worlds.420sailing.org/en/default/races/race-news-event-info>

<http://2015worlds.420sailing.org/en/default/races/race-resultsall>

### 日

本にとって長年の夢であったユース世代への420級の導入が始まって3年、待望の世界選手権が佐賀県・唐津で21カ国165艇の参加を得て開催された。

イタリアからコンテナで送ったナウティベラ社のチャーターボート10艇がイタリア国内で盗難に会い、なんとコンテ

ナーは空の状態で唐津に到着！ それを補うために急きょ全国からチャーター艇を集めるなどの騒動があったり、梅雨の明けさらぬ不安定な天候の影響などもあり、何かと不安な幕あけであった。しかし、日を追ってコンディションも唐津らしく増し、大会期間前後に接近した台風に予定を阻まれたも、幸運にも大

会期間中は良い風に恵まれ、全12レースを消化することができた。2014年全日本および2015年5月の連休の最終選考レース等で唐津のコンディションを肌で感じていたこと、そして何とんでも日本国内の大会という安心感もあり、日本選手が思い切ったレースを展開し、オープンクラスの高山

大智・中野翔太はライバル香港がスコアを崩すなか最終日をうまくまとめて逆転優勝。日本人初となる420級ワールドの優勝を勝ち取った。

また、女子の田中美紗樹・高野芹奈が3位と日本チームは男女がメダルを獲得するなど大活躍だった。女子優勝のスペイン、U17優勝のイタリアといずれも420ワールド常勝国に伍してこの好成績を上げられたことは非常に素晴らしい。2020年東京オリンピックに向けて明るい兆しが見えた大会でもあった。リオ五輪誘致スピーチで東京の開催決定に大きく貢献された高円宮妃久子殿下にお出でいただき、海上でのレース観戦、また開会式では世界中のセーラー、コーチ、役員とも歓談していただき、大会を大いに盛り上げていただいた。

来日した国際420級協会のニコシユメリ氏はリオ五輪のレース運営の総責任者。また、本部船で目を光らせるのは国際420級協会会長のスタニスラフ氏。この2人が注視する中、レース運営実行部隊は過去2回の日本のレーザワールド開催で鍛え上げた唐津を中心としたグループできめ細かいマーク変更をスムーズにこなし、両氏から「グッドジョブ！」の声をかけてもらった。これまた2020年五輪に向けて大きな糧となった。

なお、本大会はスリーポンド、セイコー、富士ゼロックス、日東ベスト、キリン、ヤマザキナビスコ、商船三井、虎屋、ミスノをはじめ、地元唐津婦人会等のご支援をいただき、参加選手にレース後のスナックの提供の心を込めた「おもてなし」ができたことについて、各社および佐賀県、唐津市の大きなご支援に心から御礼を申し上げます。

(2015 INTERNATIONAL 420 CLASS WORLD CHAMPIONSHIPS 実行委員会)

## 優勝は中・多田組 女子は松下・吉田組が優勝



前列左から松下、吉田、中、多田、望月、小野、中列左から吉村、久保田、小倉、山内、仲、高仲の各選手。後列左から内田日本 FJ 協会事務局長、齋藤元国際 FJ 協会会長、Wolff 国際 FJ 協会会長



優勝した中・多田組

**F** Jワールドの日本開催は4回目(86年鳥取、93年千葉、01年山形)となり、本大会からは過去に5組の日本人世界チャンピオンを輩出している。

日本の FJ 級の歴史は 1968 年の広島インターハイに遡る。84 年の国体採用を経て、およそ 50 年のうちに約 1800 艇が建造され今日に至る。国内では高校生の艇種というイメージ

だが、ヨーロッパ諸国では自作艇も多く、ファミリーボートとしての性格が強い。2年に一度行われる世界選手権には毎回日本チームも参加し、開催国を訪れるたびに手厚い歓待を受けてきた。

日本での世界選手権の開催は 10 年来の課題ではあったが、インターハイ艇種の変革時期に重なり、何度か見送られてきた経緯がある。

こうした中、日本 FJ 協会は「約 50 年の日本における FJ 級ヨットの歴史の一区切りとして世界選手権を開催し、これまでの各国大会での歓待に恩返しをする」という理念をかかげて 15 年大会の開催を決意し、4 年をかけて準備を重ねてきた。

今大会にはアメリカ、ドイツ、オランダ、スロベニア、日本から 52 チームが参加した。FJ が多く活動しているイタリア、ベルギーからの参加がないのは残念だったが、全日本選手権を併催したことでインターハイを意識した高校生、FJ で育った OB、OG の選手が複数組参加してくれたことはありがたかった。

### レース概要

7月28日

過去の世界選手権にならない、全艇の重量をチェックした。船齢 10 年以上の艇もあったが、ほとんど誤差 1 キロ未満に収まっており、海外選手は日本の造船技術の優秀さに驚いていた。

7月29日

3 レースを実施。中・多田(逗子開成高校)が暫定首位、2 位に同率で松下・吉田(長崎県体育協会・長崎工業高校)、仲・高仲(霞ヶ浦高校)、小野・望月(逗子開成高校)が並ぶ接戦。

7月30日

3 レース実施。終日軽風のコンディション。前日から 3 連続トップの仲・高仲は第 5 レースで痛恨のリタイア。第 6

レースでは松下・吉田が BFD により失格。第 5、6 レースでトップを取った小野・望月が中・多田を猛追する。

7月31日

3 レース実施。前日よりさらに風が落ち、微軽風ながらも海面にはブローが全面に広がる状況。レースは中日を過ぎワックサットも入り、この日が一番。暫定首位の中・多田はこの日の 3 レースを 3 連続トップフィニッシュ。

8月1日

2 レース実施。第 10 レースでは仲・高仲が本大会 4 度目のトップ。小野・望月は 3 位、中・多田は手堅く 5 位となり、最終レースを迎える。

第 11 レース、トップは伝統校の意地を見せた山内・小倉(磯辺高校)。このレースのスタート時に 7 艇が BFD で失格。この中に暫定 1 位、2 位のチームも含まれたが、前日までの貯金が大きく順位は変動なし。優勝は初日から首位を独走した中・多田(逗子開成高校)、準優勝はチームメイトの小野・望月(逗子開成高校)、女子優勝は松下・吉田(長崎県体育協会・長崎工業高校)となった。

次回は 2017 年

スロベニアで開催

レース終了後、リビエラ逗子マリナーで表彰式とフェアウェルパーティが行われた。多くの高校生が物怖じすることなく外国人選手と交流する様子は頼もしく、本大会で得た経験をぜひ次のステップとしてほしい。次回 17 年スロベニア大会が盛会に開催され、日本からも多くの選手が出場されることを強く望む。

結びに、共同主催の日本セーリング連盟、神奈川県セーリング連盟、ご後援いただいた葉山町、ほか大会役員関係者に深く感謝いたします。(レポートと写真/日本 FJ 協会内田伸二)

# 全日本外洋ヨット選手権大会 Japan Cup 2015

2015年8月9日～15日、愛知県蒲郡市・ラグナマリーナ <http://www.jsaf.or.jp/japancup/index.html>

レポート／高槻和宏



写真／中嶋一茂

## 真

夏の蒲郡開催となった「ジャパンカップ2015」には全11艇、それも、関東水域から4艇、関西から1艇、地元東海からの5艇に加え東北からも1艇と、全日本にふさわしいトップチームがラグナマリーナに集結。予定の全7レースをすべて消化し、関西ヨットクラブの鈴木啓介オーナー自ら舵を持つ〈SWING〉(Botin)が優勝した。

1983年の熱海大会から数えて今年で32年30回を数える外洋ヨット日本一決定戦は、関東、東海、関西と所を変えて開催されてきた。近年は当該水域の加盟団体とJSAFの共同主催という形をとっていたが、今年からJSAF単独主催となる。

これはジャパンカップにとっては大きな改革で、JSAF側で2014年からワーキンググループを作り準備を進めてきた結果だ。今後は、関東、東海、関西の順で、各開催水域の外洋加盟団体が協力するという開催形式が明文化された。今年も東海水域の順番となったわけだが、蒲郡で「ジャパンカップ」が行われるのはこれが4回目となる。

植松真大会会長、坂谷定生実行委員長の指揮の下、連日のすばらしいコンディションと三浦信郎レース委員長以下運営スタッフの手際良いレース運営で、初日と2日目に3レースずつ6本のインシヨアレースが成立。この時点で、昨年の優勝艇である斜森保雄オーナーの〈光風〉(King40)と永田守オーナーの〈光風〉(First40)2隻の関東勢が10点で並び、〈WING〉が11点で続くという三つ巴の大接戦となる。

3日目のデイスタンスレースは三河湾東部の大三角コースを2周する約50マイル。大会規定で全7レースとなっていたためこのレースですべてが決すること

となる。

この日も爽やかな風ときらめく太陽のもとレースは淡々と進み、〈SWING〉が堂々の1位に、先行艇有利な展開となり、間に〈BENGAL7〉(Humphreys4)〈ESPRIT〉(Carkeek40 Mk2 GP)の2艇が入ったこと、このレース4位となった〈光風〉が総合2位に。6着7位の〈からす〉が総合3位となり、2015年東西三強激突は幕を閉じた。

同じ40フィート艇といえども、絶対スピードも得意な風域も異なる艇間で競われるハンディキャップレースではどうしてもコンディションによる有利不利はつきものだが、そのチャンスを活かすも殺すも乗り手次第。西の名門〈SWING〉は、鈴木重行オーナー時代から続く親子二代に渡る栄光の歴史に、新たなページを刻んだ。

### ■ジャパンカップ2015 成績

1位 〈SWING〉 Botin40	鈴木啓介	2-3-2-1-5-3
2位 〈KOUFU〉 First40	永田守	1-1-4-2-2-8-4
3位 〈KARASU〉 King40	斜森保雄	3-2-1-3-1-5-7
4位 〈Gust〉 Ker40	青山耕三	5-5-3-4-6-4-8
5位 〈KLC Bengal 7〉 Humphreys 54	邨瀬愛彦	9-9-5-9-4-1-2
6位 〈ESPRIT〉 Carkeek 40 Mk2 GP	河本二郎	6-4-8-6-3-10-3
7位 〈PARAPHRENIAN〉 FIRST 40.7	荻須文一	4-7-6-5-7-6-6
8位 〈SEA FALCON〉 X35OD	奥井光明	7-6-7-8-8-2-9
9位 〈Papillon〉 Soto 40	伏見徹	10-10-10-7-9-7-5
10位 〈MYSTIC-X〉 FARR40 MOD	餅啓一	8-8-9-10-10-11
11位 〈Sparky Racing〉 C&C30	鈴木順之介	11-11-11-11-11-9-11



写真／中嶋一茂

### 〈SWING〉鈴木啓介オーナー／スキッパー (関西ヨットクラブ/JSAF 外洋内海)

「2010年の優勝時にはバスコ・バスコット、2013年はクリス・ニコルソンら海外のプロセラーにタクティシャンや主要ポジションを任せていたのですが、海外遠征時と国内チームは分けて考えるようにして、今回はチーム全員が日本人。毎週練習している国内の—それも若い将来性のあるセラーたちが活躍できる晴れの舞台として、ジャパンカップに臨みました。艇も新しく戦力のある今がチャンスと思って、

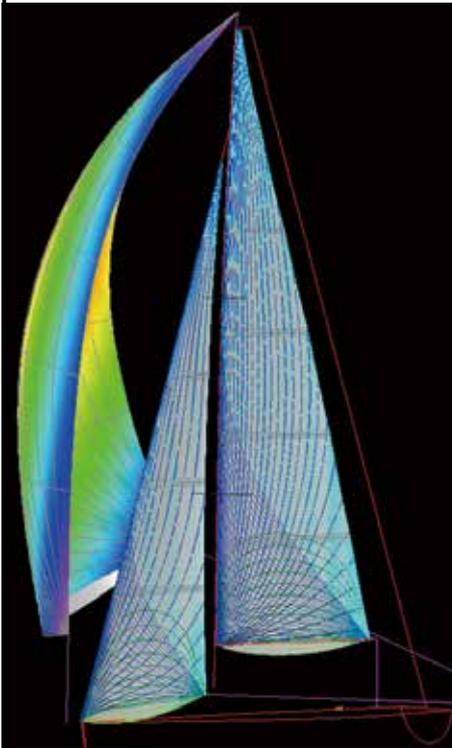
地元西宮以外の蒲郡に遠征することにしました。

とはいえ、メインセールのトリマーのノースセル中村匠以外はみなアマチュアセラーで、優勝できるとまでは思っていなかったもので、この結果には大変満足しています。無欲の勝利というのでしょうか。

来年は地元西宮開催と聞いています。ディフェンディングチャンピオンとして、準備して臨みたいと思います」

## 第56回パールレース

2015年7月23日～26日、五カ所～利島～江の島、180マイル  
<http://pearl.toscrace.jp/>



**速さと耐久性の調和**  
セイルシェイプと重量、そして構造。  
新たな世界へチャレンジする

3月1日より関西営業所は下記へ移転

[www.quantumsails.com](http://www.quantumsails.com)

**JAPAN BOATSHOW 2016**  
INTERNATIONAL

パシフィコ横浜に出展  
2016年3月3日～6日

**Quantum Japan**  
[japan@quantumsails.com](mailto:japan@quantumsails.com)

[www.wattsmarine.jp](http://www.wattsmarine.jp)

(株)セイルス・バイ・ワッツ・ジャパン  
本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町 8-40  
電話:046-882-5451 fax:046-882-4319

関西営業所

〒662-0933 兵庫県西宮市西波止町 1-2、  
西宮マリーナ内 マリンスクエア M-1  
電話:0798-23-6410 fax:0798-23-6420



7月24日、27艇がスタート



ウイナーの名前が刻まれた優勝カップ

## 第

56回パールレースは40艇のエントリーを得ましたが、回航艇の不具合等でスタート海面に届かなかった艇が13艇あり、残る27艇が7月24日11時、三重県五ヶ所湾口をスタートしました。

スタート時は南西3m/sの穏やかな風でしたが、暗くなるにつれて風は上がり、夜間には30ノットオーバーの追っ手の風が吹き募り、スピナーカーやジエネカーを破いてしまった艇、スピンポールを折った艇等、装備のトラブルがあったようです。

幸いにも事故やトラブルはなく、最終艇が7月25日20時01分25秒にフィニッシュし、スタートした全艇が翌日の土曜

日にフィニッシュするという快挙を成し遂げました。

前々回52艇、前回48艇から今回40艇とエントリー数が減少しました。これを分析すると、レースに積極的に参加している艇のなかではトランスパックに参加してパールレースに出られなかった艇が3艇、ジャパンカップに参加するためパールレース参加を取りやめた艇が2艇、ミドルポート選手権に参加したため参加を取りやめた艇が2艇、新艇を購入したがパールレースに間に合わなかった艇が3艇ありました。

一方、前回参加して今回不参加だった艇が16艇もありました。参加を取りやめた理由の一つではと思われる参加者の年齢構成について調査してみました。

今大会の40艇の登録乗員数は332人。1艇平均の乗員数は8.2人、その平均年齢は49.9歳でした。各艇の平均年齢の1位は64.8歳、2位は62.0歳、3位が61.3歳で、これは外洋系セーリング人口の高齢化をまさしく表しており、おじさん、おじいさんたちの奮起を引き続きお願いしたいものです。

(レポート)パールレース実行委員会委員長・河内道夫、写真提供/レース実行委員会

## コリンシアンたちの実力

— NYYC インビテーショナルカップより

写真と文/矢部洋一



2015年のインビテーショナルカップには、14カ国から19のヨットクラブチームが参加



JSAFを代表して参戦した関西ヨットクラブの「サマーガール」は総合5位と活躍



ニューヨークヨットクラブのニューポート基地「ハーバーコート」

アメリカン・ヨットイングの中心地、ロードアイランド州ニューポートのレースシーズンは、例年5月に始まり、9月いっぱいまで主なイベントをほぼ終える。

ニューポートハーバー、そしてナラガンセット湾を臨む豪壮で風格あるニューヨークヨットクラブ(NYYC)のクラブハウス「ハーバーコート」はこの期間、月にいくつものレースイベントをこなし、大忙しだ。

2015年のシーズンを締めくくる9月のメインイベントは、2009年から同クラブが2年に一度主催をしている「ローレックスNYYCインビテーショナルカップ」だった。

インビテーショナル・カップは、NYYCが互恵関係を結ぶ世界の名門ヨットクラブを中心に、招待状が送られたクラブだけが参加できるイベントだ。参加クラブのリストには、頭にロイヤルを冠した名だたるヨットクラブがずらりと並んでいる。日本には第一回からJSAFに招待状が送られていて、これまで毎回参加を続けてきた。

もうひとつの特色はカテゴリー1、つまりプロではないセーラーだけが参加できるという決り事にある。ここに、あまり聞きなれない言葉が出てくる。彼らは、このレガッタに参加資格を持つセーラーのことを、アマチュアではなく「コリンシアン」と表現する。これ、英和辞典を引いても「コリントの」とか「コリント様式」と書いてあるばかりでさっぱり意味が分からない。

そこで、NYYCのメンバーにその意味するところを聞いてみると、「プロではないけれど、同様のパッション(情熱)をセーリングに持ち、高いレベルのスポーツマンシップを持つ人って感じがな」とのお答えだった。なるほど。

インビテーショナルカップにやって来る選手たちのレベルは非常に高い。世界の名門ヨットクラブがそれぞれその威信をかけて挑戦に来るのだから当然なのだが、過去にオリンピックをはじめ、世界のメジャーレガッタで活躍し実績を残してきたスキッパーやクルーがぞろぞろいる。クラブ内で予選会を行って遠征チームを決

め、準備を整えてやって来るところもある。

だから参加チームの実力は伯仲して、やる方も見る方も実に面白い。とりわけ、上位半分に入るチームの競り合いは激しく、レースごとに目まぐるしく順位が入れ替わる。

2015年大会の日本(JSAF)代表チームは、関西の雄くサマーガール>チームだった。

1日目は第1レースでスタートから飛び出し、圧倒的なトップを取るという滑り出しで、現場の注目を一気に集め、一目も二目も置かれた。その後アップダウンを味わいつつも、馬場益弘オーナー率いるくサマーガール>は全12レースを戦って総合5位という見事な成績を収めた。インビテーショナルカップ第1回大会で植松眞オーナー率いるくエスメラルダ>が獲得した総合3位に続く、歴代2番目の結果である。

コリンシアンの世界で、日本のセーラーの力を証明できるというのは、なんと嬉しいことだ。

# 2

015年4月、ソフトバンク・チーム・ジャパンが2017年にパミューダで開催されるアメリカスカップの挑戦を表明した。エントリッククラブは関西ヨットクラブ。日本のアメリカスカップ挑戦は2000年を最後に途絶えていたが、今回の挑戦表明により15年ぶりの挑戦復活となる。

チームの総監督を務めるのは早福和彦氏で、スキッパーはニュージールランドのデイン・バーカー氏。早副氏はニッポンチャレンに所属した後、ワンワールドチャレンジ、BMWオラクルレーシングに所属し、過去4回のアメリカスカップ挑戦経験を持つ。また、2015年11月には日本でクルー選考会が開催され、吉田雄悟さんと笠谷勇希さんの2人が新たにチームに採用された。

河野博文JSAF会長は、「アメリカスカップへの挑戦は、東京オリンピック開催に次ぐうれしいニュース。日本のセーリング界の存在を改めて世界に知らしめるとともに、日本の多くの方々にセーリングの醍醐味を知っていただく機会になる。そ

して何より、早福総監督以下のこれからの挑戦やトレーニングのプロセスを通じて日本のセーラーのレベルが飛躍的になり、ひいては東京オリンピックにも追い風となってくれることを期待したい」と語り、JSAFはこの挑戦に協力することを表明した。



挑戦表明記者会見のJSAF河野会長(左から2人目)とチーム総監督の早福和彦さん(同3人目)(写真/J-SAILING)

## ソフトバンク・チーム・ジャパン、第35回アメリカスカップに挑戦

ソフトバンク・チーム・ジャパン  
<http://team-japan.americascup.com/jp/home.html>  
 アメリカスカップ  
<https://www.americascup.com/>

# JSAF、2つの挑戦に協力を表明

## 白石康次郎さん、ヴァンデ・グローブを目指す



白石康次郎  
<http://www.kojiro.jp/profile/>  
 ヴァンデ・グローブ  
<http://www.vendeeglobe.org/en/>

ヴァンデ・グローブ挑戦を表明した白石康次郎さん(写真/矢部洋一)

016年11月にスタートする「ヴァンデ・グローブ」にヨット乗りで海洋冒険家の白石康次郎さんが挑戦を表明した。白石さんはJSAFの会員でもある。

「ヴァンデ・グローブ」は4年に1度開催される世界唯一の単独無寄港世界一周ヨットレース。フランスのヴァンデ県が主催する。フランスのヴァンデ県・サールブルドロンヌの港をスタートし、大西洋を南下、喜望峯を抜け、インド洋に出てオーストラリアのルイイン岬下を通り、オーストラリアとニュージールランドの南側を抜け、南太平洋を出て、南米大陸のホーン岬と南極大陸の間にあるドレーク海峡を抜け、再び大西洋に入り北上、スタート地に戻る。約2万6千マイルをおよそ100日間かけて帆走する。

2015年の10月には「白石康次郎ヴァンデ・グローブ参戦決起集会」が開催され、多くの支援者を集めた。JSAFでは白石さんのヴァンデ・グローブ挑戦に協力することを表明している。

# 江の島オリンピックウィーク EOW

2015年6月5日～7日、神奈川県江の島 <http://www.jeow.org/#/jpn-home/cni1>



■ 2015 EOW 成績

- 470 男子 磯崎・中川組 (SPN・日本経済大学)
- 470 女子 市川・永松組 (早稲田大学)
- 49er 鷺山・勝本組 (真崎クラブ・葉山モスフリート)
- 49erFX 松苗・原田組 (ゴルフネット)
- 420 男子 高宮・榎本組 (慶応高校)
- 420 女子 宇田川・齋藤組 (霞ヶ浦高校)
- レーザー 南里研二 (三重県体育協会)
- ラジアル総合・女子 池田紅葉 (日本大学)
- 4.7 級 安藤龍海 (江の島ヨットクラブジュニア)

49er と 49erFX は同時スタート

**2** 015年江の島オリンピックウィークは6月5日～7日、470男女、420男女、レーザー1級、49er、FXの合計9クラス、7艇種で開催された。ISAFオリンピッククラスのグレイド2ランキング大会に指定されていることに加え、アジアカップとしてサーキットレースにもなった。今回は日程を6月に変更したため、ワールドカップ・ウエイマズ大会と日程が近すぎてしまい、インドや韓国、日本のトップ選手の参加がなく、香港から次世代の470セーラーが唯一の海外エン

トリーとなった。それでも、インターナショナルジュリーが揃い、公式掲示、成績、SNS、ホームページなども英語表記とし、国際大会らしさが随所に出ている。5日は風が弱くてレースができず、6日と7日で5～6レースを消化した。艇数の多いレーザー、ラジアル、4.7は鎌倉沖、470と420は江の島の寄りのC海面、スキフがハーバーから近いA海面とB海面の間で実施した。成績は左記のとおり。(レポートと写真/JSAFオリンピック強化委員会・斎藤愛子)

# JSAFオリンピックレガッタ 2016年度JSAFナショナルチーム選考レース

2015年12月12日～16日、和歌山セーリングセンター [http://jsaf-osc.jp/cn03/pg03\\_148.html](http://jsaf-osc.jp/cn03/pg03_148.html)

**2** 016年度JSAFナショナルチーム選考を行う「JSAFオリンピックレガッタ」が、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(和歌山セーリングセンター)で2015年12月に開催された。選考レースは毎年この時期に行われているが、今回は470級男女、49er級(男)、49erFX級(女)、レーザー級(男)、RS:X級男女の選考が行われ、470男子3チーム、470級女子1チーム、49er級1チーム、49erFX級2チーム、レーザー級1人、RS:X級男子3人、RS:X級女子2人が、すでに認定されているリオ五輪代表内定選手と共に2016年JSAFナショナルチームに認定された。今回のレースにはリオ五輪以降を目指す若手選手も多く参加し、これまでとは異なる顔ぶれとなっていた。軽風から中風、強風といういろいろなコンディションでレースが行われ、実力のある選手が選考された。リオ五輪の国枠未取得種目を中心に、熾烈なレースが展開されていたのが印象的だった。リオ五輪での入賞、そしてメダル獲得、そして東京に向けた「日の丸セーラーズ」の活躍に期待している。(レポートと写真/ナショナルトレーニングセンター・中村和哉)



若手が多く揃ったナショナルチーム選考レース

**HARKEN**<sup>®</sup>  
<http://harken.jp/>  
 ハーケンジャパン株式会社 / 合同会社Style of Sailing / 海洋サービス

# 第70回 国民体育大会 セーリング競技会

2015年9月10日～13日、和歌山セーリングセンター



会場の和歌山セーリングセンター



成年女子セーリングスピリッツ級の宮川恵子・栗栖佐和



今や国体の定番となった無料託児所「チャイルドルーム」

## 第

70回国民体育大会から成年男子はレーザージャール級、成年女子はレーザージャール級、少年男子は420級とレーザージャール級が採用され、2人乗りはインターハイ種目と同じ420級が採用された。

今大会は、GPSを装着したレース艇の航跡がリアルタイムで追跡できる「スマホでヨット」を導入し、スマホでレース展開が確認できた。併せてレース映像をモニターに映し出し、解説を加えて、セーリング競技を少しでも一般の方々に理解してもらう「イベント事業」として実況中継を実施した。

また、JSAFレディーズ委員会が実施した無料託児所「チャイルドルーム」は、選手からは安心して大会に出られると喜ばれた。日本体育協会の視察もあり、新聞にも報道された。さらに、2年前の

東京国体からJSAF環境委員会が行っている「エコバックの製作」も実施した。不要になったセイルを再利用してバックを作る作業に多くの市民が親子連れで参加していた。

レース初日の9月10日は安定した風が吹き、大会として全種目が初日に成立した。

3日目の12日は9ノット前後の風が入った。風向は安定しないものの、和歌山県セーリング連盟の海上運営は素晴らしく、選手を満足させるコース設定でレースは展開された。

今回の和歌山国体は「見えるセーリング競技」を様々な場面で展開したが、その集大成が最終レースだった。470級は27分、ウインドサーフィン級は15分でトップ艇がフィニッシュする上・下コースで、ハーバー入口にフィニッシュラインが設定されたことによる効果は大きく、陸上からの声援が飛び交っていた。予定された全種目各6レースの60レースを4日間にわたり完璧に実施した和歌山県セーリング連盟に絶賛の言葉を捧げたい。

また、和歌山県選手団は昨年の長崎国体に続き天皇杯・皇后杯とも総合優勝をした。成年女子セーリングスピリッツ級の宮川恵子・栗栖佐和組は平成25年東京国体から連続3回優勝を果たしたことは素晴らしい。

和歌山マリナーシティ株式会社、関係漁業協同組合及び地元ボランティア団体など多くの関係者のご支援により大会が成功裡に終わりました。また、長年にわたり、ご尽力いただいた和歌山市実行委員会、和歌山県セーリング連盟の皆様へ深くお礼を申し上げます。(レポートと写真/JSAF国体委員会副委員長・森信和)

## 夢にむかって・・・ セーリングのナショナルチームとユースチームを応援します!

ナショナルチーム・ユースチームの海外遠征の手配、  
インド洋の楽園 セーシェルへのリゾートツアー、  
障害者スポーツの海外派遣、  
フランスへの個人語学留学の手配、  
業務渡航その他、海外への各種渡航手配を行っております。

株式会社 **グロリア ツアーズ** TEL:03-6661-9080 (代表) <http://www.gloria-tours.jp>

Full Speed Ahead

## Carrying dreams, Carrying the future

子供たちの未来が輝かしいものであって欲しい。そのために私たちは運び続けます。  
ヒトやモノを運ぶことが、夢を運ぶことにつながると信じて。船だからこそできること。  
商船三井だからこそ、できることがあります。 [www.mol.co.jp](http://www.mol.co.jp)

**MOL** 商船三井

# CATCH THE WIND

YAMAHA  
SAILING CRUISER  
&  
DINGHY SERIES



●お問い合わせは .....  
◎ディンギーヨット / オクムラボート 販売株式会社 〒671-0111 兵庫県姫路市の形町の形2013 tel.0792-54-5630 <http://www.okumuraboat.co.jp>  
◎クルザーヨット / ニュージャパンヨット株式会社 〒421-0502 静岡県牧之原市白井7-9 tel.0548-54-0221 <http://www.njy.co.jp>



GO BEYOND™

GO FOR 2016 RIO OLYMPIC GAMES

470 World Ranking No1 Mat Belcher / Will Ryan

420 WORLD WINNING SAILS  
M-9 J-12 S-01 S-05

2015 420 世界選手権優勝 高山 / 中野組

# FAST ONE DESIGN SAILS



SNIPES WINNING SAILS  
SW4 R3LM

OP NEW DESIGN SAILS  
R1 R2 R4 PL3



本社・横浜ロフト 045-770-5666  
関西ロフト 0798-26-7771  
北海道ロフト 0134-25-3227

NORTH SAILS



[www.jp.northsails.com](http://www.jp.northsails.com)





記者会見でロゴマークを発表する河野会長（写真中）、関一人さん（同左）、重由美子さん

## ナショナルチーム愛称とチームロゴが決定

JSAF では 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックへ向けて、セーリング競技をより多くの方に知っていただき、身近に感じていただくため、『さあ、世界の頂点へ。セーリング日本代表チーム「愛称」&「絵画」コンクール』を 2015 年 7 月 20 日から 8 月 31 日の期

間に実施しました。

「愛称」では全応募 1,753 件の中から『日の丸セーラーズ』（神奈川県 雨貝健太郎様）が、全国の小・中学生から募集した「絵画」では全応募 54 件の中から『世界のちょうてんは……「日本!!」』（千葉県 矢田鴻生様、10 歳）が最優秀賞に選

ばれました。

また、最優秀賞として決定したチーム愛称『日の丸セーラーズ』を基に、セーリングの象徴であるセールシルエットと日の丸をシンボライズした日本代表チームロゴを作成しました。（本号表紙のロゴマークを参照してください）

## “若大将” 加山雄三氏が JSAF 応援団長に就任

セーリング競技の普及・発展のため、日本セーリング連盟の応援団長に加山雄三氏に就任いただきました。

加山雄三氏は 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催される江ノ島にもほど近い湘南の茅ヶ崎で育ち、海の傍らで少年時代を過ごすとともに船に慣れ親しみ、現在も愛艇の第 3 代目 < 光

進丸 > でクルージングを楽しんでいるほか、昨年から逗子沖で開催されるクルーザーレース「若大将カップ」では、特別大会名誉会長を務めていただいております。

今後、加山雄三氏には様々な場において、セーリング競技・選手への応援メッセージを発信していただく予定です。



JSAF 応援団長に就任いただいた加山雄三氏。なお、JSAF ホームページに加山氏のビデオメッセージがアップされています

# 日本セーリング連盟のみなさまへ

## ■ 2016年度 JSAF 年会費納付方法等のお知らせ ■

2015年度から会員管理の新システムが稼働し、これに合わせてJSAF会員証の電子化に移行したことにより、2016年度以降、カード会員証は原則的に廃止とご案内いたしました。しかしながら、2015年11月末日現在、電子会員証閲覧の条件である会員の電

子メールアドレスの登録が5千人弱であり、多くのJSAF会員が電子会員証を利用できない状況にあります。

一方で、2015年度からJSAF年会費の決済代行方式を導入した団体は、会員本人の利便性の向上、加盟団体実務担当者の行程数軽減などの効果が表

れています。

つきましては、2016年度JSAFカード会員証の発行及びJSAF年会費支払い方式について下記の通りいたしますので、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

(JSAF総務委員会 2016年3月1日)

### 記

#### ① 2016年度 JSAF カード会員証の発行について

(1) 2016年度に限り、JSAF会員全員にカード会員証を発行します。カード会員証は各加盟・特別加盟団体宛に従来通り一括してJSAFから送付します。

(2) 2017年度以降、カード会員証は原則、廃止します。  
(電子会員証の利用環境がない等の理由で、印刷された会員証の発行を希望する会員には、現行の電子会員証のPDF化により加盟団体にて印刷・配布が可能となる方式を2016年度中に実現します)

#### ② 2016年度 JSAF 年会費支払い方式について

(1) JSAF年会費納付方法を、決済代行方式(クレジットカード・コンビニ決済、ネットバンキング、口座振替)へ全面的に移行します。

(2) JSAF年会費のお支払いは、JSAFホームページの「Membership」からエントリーし、「新規」もしくは「更新」を選択することにより、この決済代行が利用できます。

(3) ただし、加盟団体・特別加盟団体へ直接納付する従来方式を可能とする団体もありますので、所属する団体へお問い合わせください。

#### ③ 2016年度大学生会員の JSAF 番号の変更について

(1) 大学生会員のJSAF番号の末尾番号が「1」から「5」に変更されます。この変更は2016年2月末日にJSAF本部にて一括処理します。

(2) この処理により、大学生会員でも2016年度以降のJSAF年会費の支払いについて、決済代行方式(クレジットカード・コンビニ決済、ネットバンキング、口座振替)を利用できることとなりますので、ご活用ください。

#### ④ 電子メールアドレス登録のお願い

(1) 会員管理システム上で会員自身の電子メールアドレスのご登録をお願いします。新システムでは、会員自身の電子メールアドレスを含む個人情報の登録、更新も可能となっています。

(2) メールアドレスの登録は、JSAFホームページの「Membership」からエントリーし、「更新」を選択することにより行えます。→ <http://www.jsaf.or.jp/hp/membership/account>

(3) 電子メールアドレス登録に必要な会員ID、パスワード等の情報は、所属する加盟団体またはJSAF本部事務局にお問い合わせください。

(4) メールアドレス登録後、JSAF本部から確認メールを送りますので、携帯のメールアドレスを登録される方

は「[kaiin@jsaf.or.jp](mailto:kaiin@jsaf.or.jp)」を指定受信設定にさせていただくか、もしくは着信拒否設定の解除をお願いします。

(5) JSAFは会員の皆様へのタイムリーな情報提供を検討していますので、何とぞ、会員自身の電子メールアドレスの登録をお願いいたします。今後、個人情報として登録いただいている「電子メールアドレス」を利用して、JSAFの事業である委員会活動等に関する情報等の提供を開始します。

(6) JSAFは、会員自身の個人情報の利用については、利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ適法な手段で行います。また、JSAFは会員の方が、JSAFからの情報の伝達の停止またはお届け事項の変更を希望される場合は、早急に対処し、個人データが正確かつ最新の内容に保たれるように努力しますので、電子メールアドレスの登録にご理解いただきますようお願いいたします。

#### ⑤ 本件に関するお問い合わせ

会員自身が所属する団体、またはJSAF事務局(寺澤)までお問い合わせください。

JSAF事務局

e-mail : [head@jsaf.or.jp](mailto:head@jsaf.or.jp)

TEL : 03-3481-2357

FAX : 03-3481-0414



ヤンマーは、オラクルチームUSAの伴走艇に  
マリンエンジンとドライブシステムを提供する  
“オフィシャルテクニカルパートナー”です。

yanmar.com

**病院**  
北柏リハビリ総合病院(247床)

**健診センター**  
柏健診クリニック  
汐留健診クリニック

**クリニック**  
西浦眼科  
まちや外科内科  
梅郷整形外科クリニック(13床)  
天宣会循環器・睡眠呼吸クリニック

**介護老人保健施設**  
梅郷ナーシングセンター(124床)  
北柏ナーシングケアセンター(120床)

**介護老人福祉施設**  
みゆきの郷(120床)  
流山こまぎ安心館(110床)  
かしわ安心館(110床)

**居宅介護支援**  
梅郷ナーシング居宅介護支援事業所  
北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所  
居宅介護支援センターみゆき  
居宅介護支援事業所 こまぎ安心館  
居宅介護支援事業所 かしわ安心館

**訪問看護**  
北柏訪問看護ステーション

「感謝な心」で  
信頼の医療サービスを  
ご提供いたします

**研究**  
日本成人保健医療問題研究所

**天宣会グループ**

〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1 TEL 04-7167-6667(代表) www.tensenkai.or.jp

福原 愛 (ANA)

本田 圭佑

星 奈津美 (ミズノ)

全日本女子バレーボールチーム  
日本バレーボール協会  
JVA 登録番号: 2015-12-2020

井上尚弥 (大橋ボクシングジム)

## ひとりひとりの「頂点」に、 共に挑戦する。

“技術は頂点で磨かれる”。  
この信念を胸に、私たちはアスリートと共に挑戦し、最高峰の技術を磨き続けます。

明日は、きっと、できる。

市川 華菜 (ミズノ)

梅木 真美

中村 美里

奥原 希望 (日本ユニシス)

大野 将平

羽賀 龍之介

松本 薫

水瀬 貴規

小林 幸司 (ミズノ)

※掲載選手およびチームの所属は2015年12月現在

mizuno.jp ☎0120-320-799



# PLB 運用開始!



実物大



THE SCIENCE **ACR** OF SURVIVAL

## ● PLB(Personal Locator Beacon) とは、 個人で使う救難信号発信機。

・・・人工衛星が見守ります

世界で 50 万台以上普及し、多くの命を助けてきた個人用の遭難信号発信機「PLB」が、日本でも使えるようになります。無線局免許を受けるのに必要な技適マークも取得。ただ今国内販売に向けての準備が着々と進行中です。初回入荷分について予約受付を開始、3月上旬にお届け予定となります。

PLB は、人工衛星を使った全世界的な救助システム「コスパス・ササット」の一環として運用されています。携帯電話や船舶無線が通じないような海域でも人工衛星に向けて救難信号を発信することができます、生還の可能性を飛躍的に高めます。

その仕組みは、現在日本でも使われている「イーバブ」と同じ。コンパクトサイズながら、出力も変わりません。人工衛星に向けて 405MHz、5W の電波を発信。本体には GPS が内蔵され、遭難者を特定できる認識番号とともにその位置も伝えられます。同時に 121.5MHz のホーミング電波も発信され、GPS 位置情報によって付近に到着した救助隊を遭難者の元へと導きます。



## ACR ResQLink+

販売される ACR ResQ Link+ は、日本の技術基準適合証明を取得し、識別番号の先頭に日本の国番号が入力された日本向けモデルとなります。技術基準適合証明を取得していない海外流通モデルを国内で使うことはできません。

- 使用にあたっては、無線局の免許が必要となります。免許の申請から交付まで、約 1 ヶ月かかります。免許の取得には 4,600 円が別途必要です。また、年間 500 円の電波利用料がかかります。
- 使う人の資格（無線技士免許等）は必要ありません。
- 個人に交付される免許のため、免許を受けた本人しか使えません。
- 海上のみで使うことができます。

☆ 30100 ACR レスキューリンクプラス 日本仕様  
.....46,000 円 (税込 49,680 円)

サイズ: 4.1 × 4.8 × 11.4 cm / 重量: 153 g / 製品保証: 5 年 / 電波: 406.037MHz/5W · 121.5MHz · 80mW / 作動寿命: 24 時間以上 (-20℃ ~ +55℃) / 66ch GPS ユニット搭載 / ACR

お申し込み・お問い合わせは

かじしゃ

ようひんじぎょうぶ

**舵社・用品事業部**

〒232-0015 神奈川県横浜市南区共進町 3-74

マリンショップ KAZI シープラザ

TEL : 045-731-0041

FAX : 045-743-4511

E-MAIL : goods@kazi.co.jp

# J-SAILING

## JAPAN SAILING FEDERATION

### リオデジャネイロ選手強化 協賛社



関西ヨットクラブ

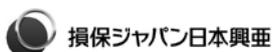
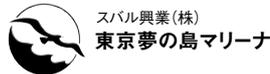


### 環境キャンペーン 協賛社



### 外洋キャンペーン 協賛社

### 平成27年度賛助会員



## NO.111

J-SAILING 2015年度版イヤーズブックをお届けします。表紙はJSAF五輪ナショナルチームの愛称「日の丸セーラーズ」をモチーフにした日本代表チームロゴです。2016年はリオ五輪の年。これを経て2020年東京五輪もいよいよ具体的に動き始めます。一方、アメリカズカップは日本のチームが15年ぶりに挑戦。今年もセーリングシーンから目が離せません。

J-SAILING No.111 平成28年3月1日発行 通巻465号 昭和42年12月25日第三種郵便物認可  
発行/公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2357 ファクス 03-3481-0414 E-MAIL head@jsaf.or.jp  
発行人/河野博文 編集人/柳澤康信 エディター/豊崎謙 デザイナー/加瀬倫有  
定価/300円(JSAF会員は会費に購読料が含まれています)  
www.jsaf.or.jp/hp

# 世界初だからこそ、 GPSソーラーASTRONは 進化し続ける。

2012年、世界初のGPSソーラーウォッチとして誕生。  
2014年、早くも第二世代を発表。そして、2015年。  
この時計は依然として、立ち止まることを許されない。  
機能で、デザインで、さらなる進化を果たすことが、  
パイオニアとしての誇りである。



## ASTRON



GPS<sup>®</sup>  
SOLAR

「GPS」は、セイコーホールディングス(株)の登録商標です。 ※2012年9月、世界で初めてGPSソーラーウォッチを発売。  
掲載商品に内蔵されているタイムゾーンのデータは、弊社ウェブサイトにてご確認ください。 <http://www.seiko-watch.co.jp/gpstimezonedatainfo/>

# SEIKO

みなさんの「おいしい」に支えられて、40年。



ヤマザキナビスコ

昭和42年12月25日第三種郵便物認可 平成28年3月1日発行 通巻465号

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

定価300円

NO.111